

令和8年度 八幡町地内配水管布設工事

数 量 計 算 書

飯 能 市 上 下 水 道 部
水 道 工 務 課

数量総括表

[illegible]

D C I P ϕ 100

本管配管材料集計表									
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

[illegible]

切 り 管 調 整

DCIP φ 100

本 数	甲切り管 (m)	乙切り管 (m)				切り管長 (m)	残管 (m)	切断工 口
		1	2	3	4			
1	① 3.68					3.68	0.32	1
2	① 1.00		① 1.00	① 1.00	② 1.00	4.00		3
3	① 3.12					3.12	0.88	1
4	① 2.82					2.82	1.18	1
5	① 1.00		① 1.00	① 1.00	② 1.00	4.00		3
6	① 1.39				① 1.50	2.89	1.11	2
7	① 2.00			① 1.00	① 1.00	4.00		2
8	① 1.00			① 1.00	① 1.00	3.00	1.00	3
9	② 2.04				① 1.50	3.54	0.46	2
10	② 1.21				① 1.57	2.78	1.22	2
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
切り管長						33.83	6.17	20口
(33.83 + 6.17) ÷ 4m /本 = 10本								

$$\text{直管本数} = \frac{\text{定尺管} \quad 18}{\text{切管用} \quad 10} \\ \text{DCIP } \phi 100 \quad (L = 4.0 \text{ m}) \quad 28$$

$$\text{管明示工 } \phi 100 \quad (0.12 \times 3.14 \times 1.5 \times 110.9 + 110.9) \div 20 = 8.7 = 9 \text{ 巻}$$

$$\text{新設管残管重量 } \phi 100 \quad 0.01798(\text{t/m}) \times 6.17(\text{m}) = 0.111 \text{ t}$$

本管配管工集計表

[illegible]

配水管土工延長集計表

[illegible]

[illegible][illegible]

配水管土工計算		市道As舗装	市道車道①	延長	=	11.53 m	NO. 1
既設 DCIP100		DP=1.20					布設
新設 DCIP100		DP=1.20					
種 別	形状・寸法	算 式				数 量	
舗装版切断工	厚15cm以下	11.53×2				23.06 m	
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホウ Ast=10cm以下	0.60×11.53				6.92 m ²	
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホウ	$(0.60 \times 1.27 - 0.011) \times 11.53$				8.66 m ³	
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホウ 砂質土	$(0.60 \times 0.92 - 0.011) \times 11.53$				6.24 m ³	
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 11.53$				0.35 m ³	
残土処分工	機械積 土砂 4t車	8.66				8.66 m ³	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×11.53				6.92 m ²	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.60×11.53				6.92 m ²	
As舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	0.60×11.53				6.92 m ²	
略		図					
		掘削 埋戻し				※既設 DCIP100控除 0.011 m ² ※新設 DCIP100控除 0.011 m ²	
		舗装版掘削積込工 再生密粒度As 再生粒調 碎石RM-40 再生切込 碎石RC-40 機械掘削 埋戻し用 砂質土 既設φ100 新設φ100 DP=1200 1270 120 120(既設) 600 50 30 170 200 920 1320					

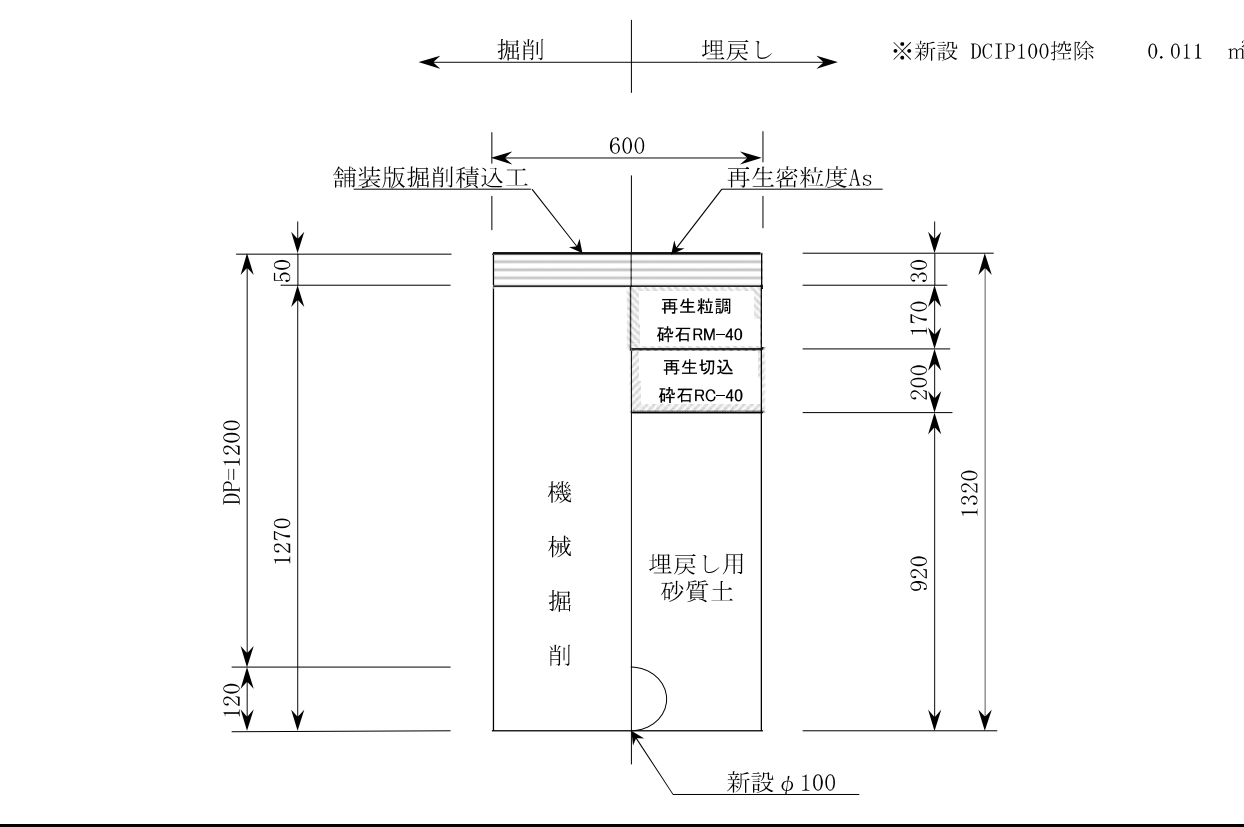
配水管土工計算		市道As舗装	市道車道②	延長	=	60.90 m	NO. 2 布設	
既設 DCIP75		DP=1.20						
新設 DCIP100		DP=1.20						
種 別	形状・寸法	算 式				数 量		
舗装版切断工	厚15cm以下	60.90×2				=	121.80 m	
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ バックホ Ast=10cm以下	0.60×60.90				=	36.54 m ³	
機械掘削積込工	0.2m ³ バックホ	$(0.60 \times 1.27 - 0.006) \times 60.90$				=	46.04 m ³	
機械埋戻工	0.2m ³ バックホ 砂質土	$(0.60 \times 0.92 - 0.011) \times 60.90$				=	32.95 m ³	
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 60.90$				=	1.83 m ³	
残土処分工	機械積 土砂 4t車	46.04				=	46.04 m ³	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×60.90				=	36.54 m ³	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.60×60.90				=	36.54 m ³	
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	0.60×60.90				=	36.54 m ³	
略		図						
		掘削 埋戻し				※既設 DCIP75控除 0.006 m ³ ※新設 DCIP100控除 0.011 m ³		
$\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$掘削 $\xrightarrow{\hspace{1.5cm}}$埋戻し $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$舗装版掘削積込工 $\xrightarrow{\hspace{1.5cm}}$再生密粒度As $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$再生粒調 碎石RM-40 $\xrightarrow{\hspace{1.5cm}}$再生切込 碎石RC-40 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$機械掘削 $\xrightarrow{\hspace{1.5cm}}$埋戻し用 砂質土 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$既設 φ 75 $\xrightarrow{\hspace{1.5cm}}$新設 φ 100 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$50 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$1270 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$120 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$90 (既設) $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$600 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$30 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$170 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$200 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$920 $\xleftarrow{\hspace{1.5cm}}$1320								

配水管土工計算		市道As舗装	市道車道③	延長	=	4.59 m	NO. 3	
既設 DCIP75		DP=1.20						布設
新設 DCIP100		DP=1.82						
種 別	形状・寸法	算 式					数 量	
舗装版切断工	厚15cm以下	4.59×2					$= 9.18 \text{ m}$	
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ バックホウ Ast=10cm以下	0.90×4.59					$= 4.13 \text{ m}^2$	
機械掘削積込工	0.2m ³ バックホウ	$(0.90 \times 1.89 - 0.006) \times 4.59$					$= 7.78 \text{ m}^2$	
機械埋戻工	0.2m ³ バックホウ 砂質土	$(0.90 \times 1.54 - 0.011) \times 4.59$					$= 6.31 \text{ m}^2$	
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.90 \times 0.05 \times 4.59$					$= 0.21 \text{ m}^3$	
残土処分工	機械積 土砂 4t車	7.78					$= 7.78 \text{ m}^3$	
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.90×4.59					$= 4.13 \text{ m}^2$	
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.90×4.59					$= 4.13 \text{ m}^2$	
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	0.90×4.59					$= 4.13 \text{ m}^2$	
土留工	軽量鋼矢板 H=2.50	4.59					4.59 m	
略		図						
		掘削埋戻し					※既設 DCIP75控除 ※新設 DCIP100控除	0.006 m^2 0.011 m^2
舗装版掘削積込工 再生密粒度As 再生粒調碎石RM-40 再生切込碎石RC-40 埋戻し用砂質土 機械掘削 900 50 1890 120 90 (既設) 既設 φ 75 新設 φ 100 30 170 200 1540 1940								

配水管土工計算市道As舗装市道車道④延長＝31.68 mNO. 4
布設

新設 DCIP100 DP=1.20			
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	31.68×2	$= 63.36 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	0.20m^3 ハックホウ Ast=10cm以下	0.60×31.68	$= 19.01 \text{ m}^2$
機械掘削積込工	0.2m^3 ハックホウ	$0.60 \times 1.27 \times 31.68$	$= 24.14 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.2m^3 ハックホウ 砂質土	$(0.60 \times 0.92 - 0.011) \times 31.68$	$= 17.14 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.60 \times 0.05 \times 31.68$	$= 0.95 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	24.14	$= 24.14 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×31.68	$= 19.01 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.60×31.68	$= 19.01 \text{ m}^2$
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	0.60×31.68	$= 19.01 \text{ m}^2$

略図



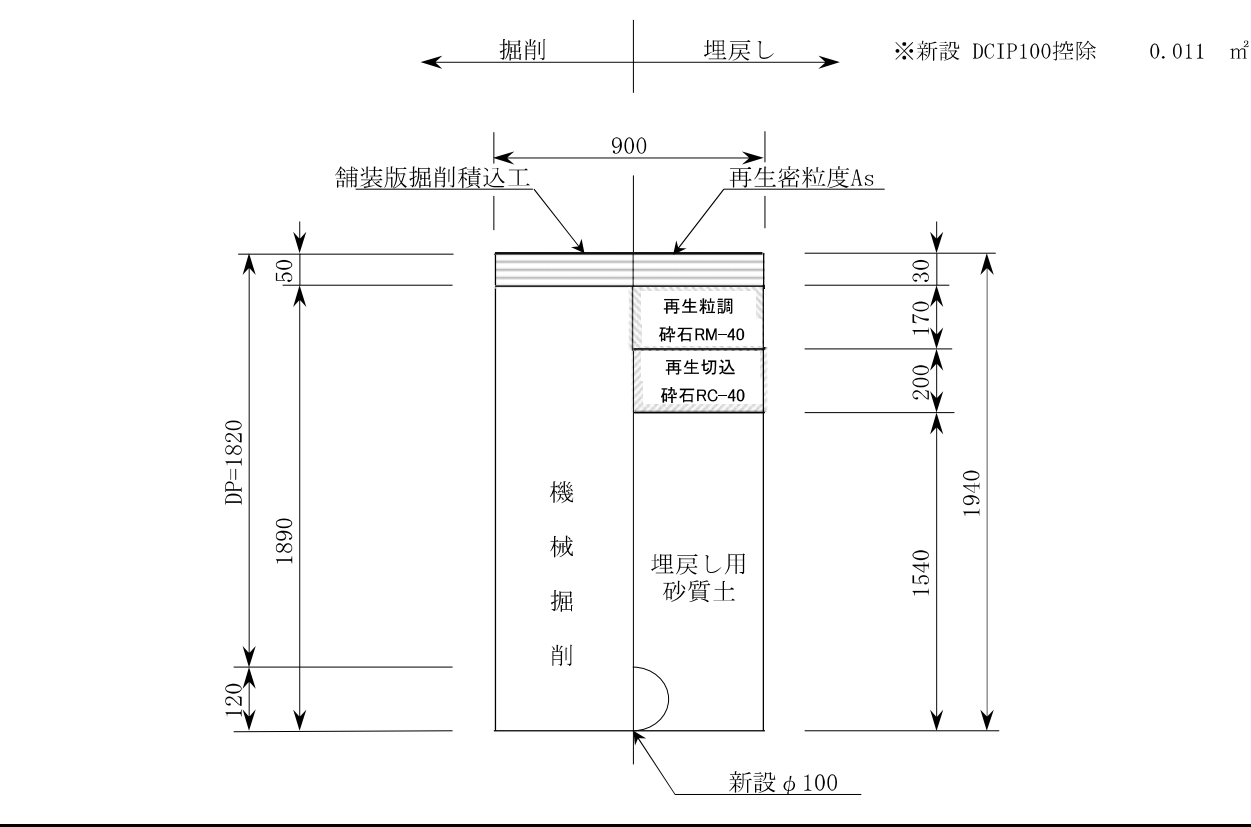
配水管土工計算市道As舗装市道車道⑤延長＝4.01 m

NO.5
布設

新設 DCIP100 DP=1.82			
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	4.01×2	8.02 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m^3 ハックホウ Ast=10cm以下	0.90×4.01	3.61 m^2
機械掘削積込工	0.2m^3 ハックホウ	$0.90 \times 1.89 \times 4.01$	6.82 m^3
機械埋戻工	0.2m^3 ハックホウ 砂質土	$(0.90 \times 1.54 - 0.011) \times 4.01$	5.51 m^3
残土処分工	機械積 AS 4t車	$0.90 \times 0.05 \times 4.01$	0.18 m^3
残土処分工	機械積 土砂 4t車	6.82	6.82 m^3
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.90×4.01	3.61 m^2
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.90×4.01	3.61 m^2
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	0.90×4.01	3.61 m^2
土留工	軽量鋼矢板 H=2.50	4.01	4.01 m

略

図



不断水簡易仕切弁

不斷水簡易仕切弁材料集計表

[illegible]

不断水簡易仕切弁設置工集計表

[illegible]

[illegible]

簡易弁土工集計表		不断水 簡易弁								
種 別	形状・寸法	NO. 1 $\phi 100$								数 量
舗装版切断工	15cm以下	t=5cm 5.46								5 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ バックホウ Ast=10cm以下	1.84								2 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ バックホウ	2.77								3 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ バックホウ 砂質土	2.13								2 m ³
	0.2m ³ バックホウ 発生土									m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	0.09								0.09 m ³
	機械積 土砂 4t車	2.77								2.77 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.84								2 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	1.84								2 m ²
As舗装工	再生密粒度アスコン t= 3cm	1.84								2 m ²
土留工	軽量鋼矢板 H=2.00m	1.53								1.5 m

不斷水
簡易弁

[illegible]

簡易弁土工計算

市道AS舗装

不斷水仕切弁部

延長

=

1.53 m

NO. 1

既設 DIP100

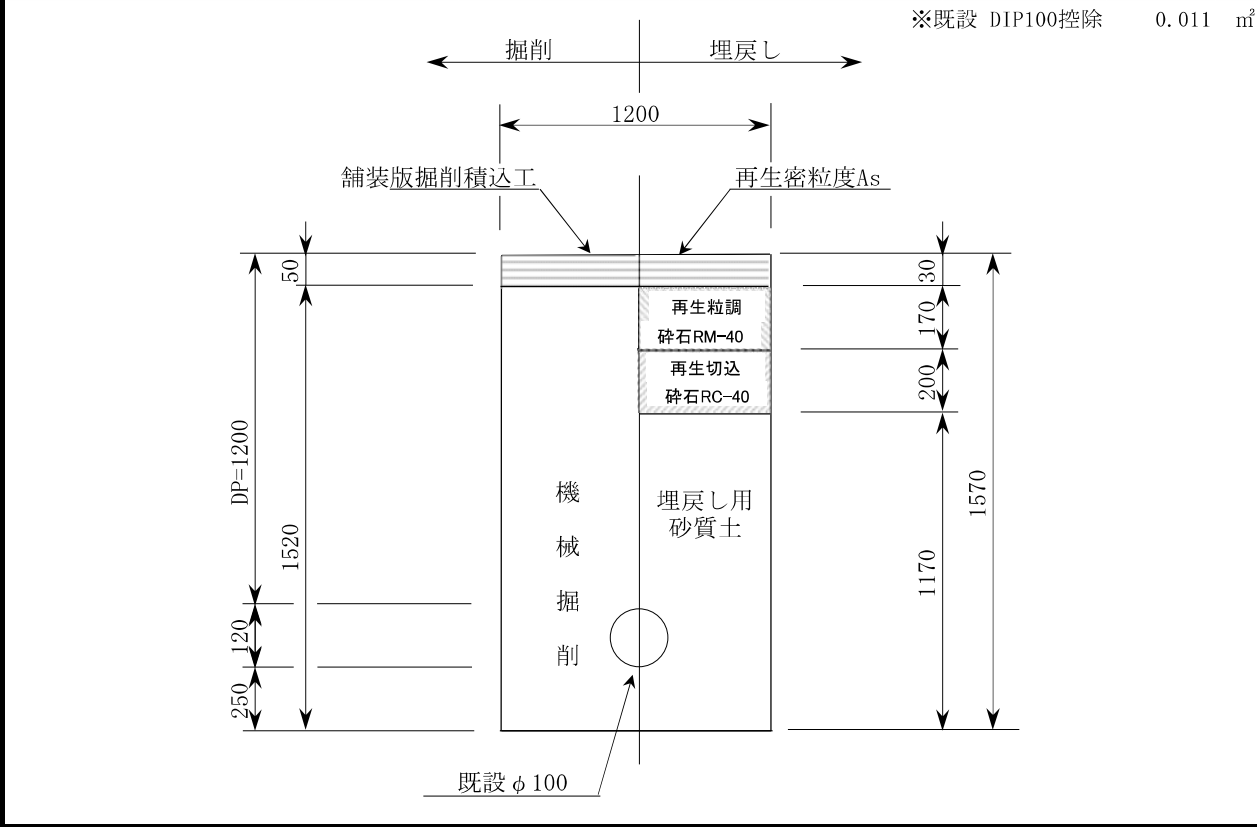
DP=1.20

設置

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	1.53 + 1.53 + 1.20 + 1.20 =	5.46 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホウ Ast=10cm以下	1.53 × 1.20 =	1.84 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホウ	(1.20 × 1.52 - 0.011) × 1.53 =	2.77 m ³
機械埋戻工	0.2m ³ ハックホウ 砂質土	(1.20 × 1.17 - 0.011) × 1.53 =	2.13 m ³
残土処分工	機械積 AS 4t車	1.53 × 1.20 × 0.05 =	0.09 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	2.77 =	2.77 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	1.53 × 1.20 =	1.84 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	1.53 × 1.20 =	1.84 m ²
As舗装工	再生密粒度Asコン t= 3cm	1.53 × 1.20 =	1.84 m ²
土留工	軽量鋼矢板 H=2.0	1.53 =	1.53 m

略

図



消火栓

消火栓材料集計表

[illegible]

消火栓設置工集計表

[illegible]

本 設 給 水

本設給水箇所数

[illegible]

本 設 給 水 材 料 表

(1/2枚目)
※1箇所あたり

給水管			NO.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
接続箇所・ 管種・口径		接 続		メーターφ20	乙止水栓φ13	メーターφ13	メーターφ13	乙止水栓φ40	メーターφ30	メーターφ20
		計 画		PP20	PP20	PP20	PP20	HIVP50	HIVP50	PP20
給水管延長	道路内	As延長		1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60
		砂利延長		-	-	-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-	-	-
		合 計		1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60
	宅地内	境界～乙止		0.50	0.50	0.50	2.50	0.50	0.50	0.50
		乙止～メーター		1.50		5.20	1.30		1.00	1.40
		メーター～既設管								
		合 計		2.00	0.50	5.70	3.80	0.50	1.50	1.90
宅地内舗装			土	土	土	土	砂利	砂利	砂利	
材 料		単 位	規 格							
サドル付分水栓 DIP用 分止水栓用継手付	個	φ100× (φ25×φ20)		1	1	1	1			1
		φ100×φ25								
		φ100×φ50						1	1	
ポリエチレン管 2層管軟質	m	φ25								
		φ20		2.40	2.40	2.40	4.40			3.10
HIVP	m	φ50						2.40	4.10	
		φ25								
		φ20		1.50		5.20	1.30			1.40
シーリング止水栓 60° ベンド HIGNユニオン共	個	φ25								
		φ20		1	1	1	1			1
仕切弁 (HIGN付)	個	φ50						1	1	
止水栓筐	個	φ100×450～600		1	1	1	1	1	1	1
HI異径ソケット (TS)	個	φ50×40						1		
		φ50×30							1	
		φ20×13				1	1			
HIエルボ (TS)	個	φ50						2	2	
		φ25								
		φ20		2		2	2			2
HIソケット (TS)	個	φ25								
		φ20		1						1
HIソケット (TS) 止水栓部	個	φ50						2	2	
		φ25								
		φ20		1	1	1	1			1
メーターユニオン HIシモク (GN付)	個	φ30							1	
		φ25								
		φ20		1						1
		φ13				1	1			
CP接続用 (SKXソケット)	個	φ20×13			1					
埋設表示シート 青色アルミ箔付 2倍折込み	m	幅150	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60	
給水箇所数			1	1	1	1	1	1	1	1

本 設 給 水 材 料 表

(2/2枚目)
※1箇所あたり

給水管			NO.	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)		合計
接続箇所・ 管種・口径		接 続		メーターφ20	メーターφ20	メーターφ13	乙止水栓φ40	メーターφ25		
		計 画		PP20	PP20	PP20	HIVP50	PP25		
給水管延長	道路内	As延長		2.60	0.90	0.90	2.60	3.60		25.30
		砂利延長		－	－	－	－	－		
				－	－	－	－	－		
		合 計		2.60	0.90	0.90	2.60	3.60		25.30
	宅地内	境界～乙止		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50		8.00
		乙止～メーター		2.50	1.60	1.30		1.40		17.20
		メーター～既設管								
		合 計		3.00	2.10	1.80	0.50	1.90		25.20
宅地内舗装			Co	Co	土	As	Co			
材 料		単 位	規 格							
サドル付分水栓 DIP用 分止水栓用継手付	個	φ100×（φ25×φ20）		1	1	1				8
		φ100×φ25						1		1
		φ100×φ50					1			3
ポリエチレン管 2層管軟質		φ25						4.10		4.10
		φ20		3.10	1.40	1.40				20.60
HIVP	m	φ50					3.10			9.60
		φ25						1.40		1.40
		φ20		2.50	1.60	1.30				14.80
シーリング止水栓 60°ベンド HIGNユニオン共	個	φ25						1		1
		φ20		1	1	1				8
仕切弁 (HIGN付)	個	φ50					1			3
止水栓筐	個	φ100×450～600		1	1	1	1	1		12
HI異径ソケット (TS)	個	φ50×40					1			2
		φ50×30								1
		φ20×13				1				3
HIエルボ (TS)	個	φ50					2			6
		φ25						2		2
		φ20		2	2	2				14
HIソケット (TS)	個	φ25						1		1
		φ20		1	1					4
HIソケット (TS) 止水栓部	個	φ50					2			6
		φ25						1		1
		φ20		1	1	1				8
メーターユニオン HIシモク (GN付)	個	φ30								1
		φ25						1		1
		φ20		1	1					4
		φ13				1				3
CP接続用 (SKXソケット)	個	φ20×13								1
埋設表示シート 青色アルミ箔付 2倍折込み	m	幅150		2.60	0.90	0.90	2.60	3.60		25.30
給水箇所数				1	1	1	1	1		12

本 設 給 水 労 務 表

(1/2枚目)
※1箇所あたり

給水管			NO.	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)
接続箇所・ 管種・口径		接 続		メーターφ20	乙止水栓φ13	メーターφ13	メーターφ13	乙止水栓φ40	メーターφ30	メーターφ20
		計 画		PP20	PP20	PP20	PP20	HIVP50	HIVP50	PP20
給水管延長	道路内	As延長	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60
		砂利延長	-	-	-	-	-	-	-	-
			-	-	-	-	-	-	-	-
		合 計	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60	
	宅地内	境界〜乙止	0.50	0.50	0.50	2.50	0.50	0.50	0.50	
		乙止〜メーター	1.50		5.20	1.30		1.00	1.40	
		メーター〜既設管								
		合 計	2.00	0.50	5.70	3.80	0.50	1.50	1.90	
宅地内舗装				土	土	土	土	砂利	砂利	砂利
材 料		単 位	規 格							
分水栓建込み工 DIP用	箇所	φ100×（φ25×φ20）	1	1	1	1				1
		φ100×φ25								
		φ100×φ50						1	1	
ポリエチレン管 布設工	m	φ25								
		φ20	2.40	2.40	2.40	4.40				3.10
ポリエチレン管 切断工	口	φ25								
		φ20	2	2	2	2				2
HIVP管布設工	m	φ50						2.40	4.10	
		φ25								
		φ20	1.50		5.20	1.30				1.40
HIVP管切断工	口	φ50						6	6	
		φ25								
		φ20	6		6	6				6
TS継手工	口	φ50						7	7	
		φ40						1		
		φ30							1	
		φ25								
		φ20	7	1	6	6				7
		φ13			1	1				
止水栓設置工 （筐とも）	箇所	φ50						1	1	
		φ25								
		φ20	1	1	1	1				1
ねじ込み接合工	口	φ30							1	
		φ25								
		φ20	1							1
		φ13			1	1				
メカニカル接合工	口	φ20		1						
		φ13		1						
埋設表示シート工	m	幅150	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	1.90	2.60	2.60
コア取付工	箇所	φ50						1	1	
		φ25	1	1	1	1				1
給水箇所数			1	1	1	1	1	1	1	1

本 設 給 水 労 務 表

(2/2枚目)
※1箇所あたり

給水管		NO.		(8)	(9)	(10)	(11)	(12)		合計
接続箇所・ 管種・口径		接 続		メーターφ20	メーターφ20	メーターφ13	乙止水栓φ40	メーターφ25		
		計 画		PP20	PP20	PP20	HIVP50	PP25		
給水管延長	道路内	As延長	2.60	0.90	0.90	2.60	3.60			25.30
		砂利延長	-	-	-	-	-			
			-	-	-	-	-			
		合 計	2.60	0.90	0.90	2.60	3.60			25.30
	宅地内	境界～乙止	0.50	0.50	0.50	0.50	0.50			8.00
		乙止～メーター	2.50	1.60	1.30		1.40			17.20
		メーター～既設管								
		合 計	3.00	2.10	1.80	0.50	1.90			25.20
宅地内舗装				Co	Co	土	As	Co		
材 料	単 位	規 格								
分水栓建込み工 DIP用	箇所	φ100×（φ25×φ20）	1	1	1					8
		φ100×φ25					1			1
		φ100×φ50					1			3
ポリエチレン管 布設工	m	φ25					4.10			4.10
		φ20	3.10	1.40	1.40					20.60
ポリエチレン管 切断工	口	φ25					2			2
		φ20	2	2	2					16
HIVP管布設工	m	φ50					3.10			9.60
		φ25					1.40			1.40
		φ20	2.50	1.60	1.30					14.80
HIVP管切断工	口	φ50					6			18
		φ25					6			6
		φ20	6	6	6					42
TS継手工	口	φ50					7			21
		φ40					1			2
		φ30								1
		φ25					7			7
		φ20	7	7	6					47
		φ13			1					3
止水栓設置工 （筐とも）	箇所	φ50					1			3
		φ25					1			1
		φ20	1	1	1					8
ねじ込み接合工	口	φ30								1
		φ25					1			1
		φ20	1	1						4
		φ13			1					3
メカニカル接合工	口	φ20								1
		φ13								1
埋設表示シート工	m	幅150	2.60	0.90	0.90	2.60	3.60			25.30
コア取付工	箇所	φ50					1			3
		φ25	1	1	1		1			9
給水箇所数			1	1	1	1	1			12

給水管土工集計表

項目	形状・寸法	単位	土工No. 1	土工No. 2	土工No. 3	土工No. 4	土工No. 5	土工No. 6	土工No. 7	土工No. 8	合計
			車道内	宅地内(土)	宅地内(土)	宅地内(Co)	宅地内(Co)	宅地内(As)	宅地内(砂利)	宅地内(砂利)	
			市道As舗装 (DP=1.20)	境界～乙止水栓	乙止水栓～メー ター～既設管	境界～乙止水栓	乙止水栓～メー ター～既設管	境界～乙止水栓	境界～乙止水栓	乙止水栓～メー ター～既設管	
舗装版切断工	As15cm以下	m	50.60					1.00			52
	Co15cm以下	m				3.00	11.00				14
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ ハ ⁺ ツクホ Ast=10cm以下	m ²	15.18					0.25			15
構造物とりこわし工	人力 無筋Co	m ³				0.08	0.17				0.3
機械掘削積込工	0.1m ³ ハ ⁺ ツクホ	m ³	17.46	1.13		0.30		0.11	0.38		19
人力掘削積込工	人力	m ³			0.84		0.33			0.22	1
機械埋戻工	0.1m ³ ハ ⁺ ツクホ 砂質土	m ³	12.14								12
	0.1m ³ ハ ⁺ ツクホ 発生土	m ³		1.13		0.23		0.09	0.30		2
人力埋戻工	発生土	m ³			0.84		0.17			0.14	1
残土処分工	機械積 AS 2t車	m ³	0.76					0.01			0.77
	機械積 Co 2t車	m ³				0.08	0.17				0.25
	機械積 土砂 2t車	m ³	17.46			0.07	0.16	0.02	0.08	0.08	17.87
路盤工	再生切込碎石 t= 10cm	m ²						0.25			0.3
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	m ²	15.18								15
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	m ²	15.18								15
上層路盤工(宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	m ²				0.75	1.65				2
上層路盤工(宅地内)	碎石 t= 10cm	m ²							0.75	0.72	1
アスファルト舗装工	再生密粒A s t= 3cm	m ²	15.18								15
アスファルト舗装工 (宅地内)	再生密粒A s t= 5cm	m ²						0.25			0.3
コンクリート工	t= 10cm	m ³				0.08	0.17				0.25

集計	給水箇所数	箇所		給水件数12件
----	-------	----	--	---------

処分工	ガラ運搬処分 (As)	m ³				0.77
	ガラ運搬処分 (Co)	m ³				0.25
	As汚水運搬処分 0.0008m ³ /m	m				
	As汚水運搬処分 0.0013m ³ /m	m				52
	残土運搬処分 (As)	m ³				17.87

給水管土工計算

No. 1

車道内

延長 = 25.30 m

市道As舗装 (DP=1.20)

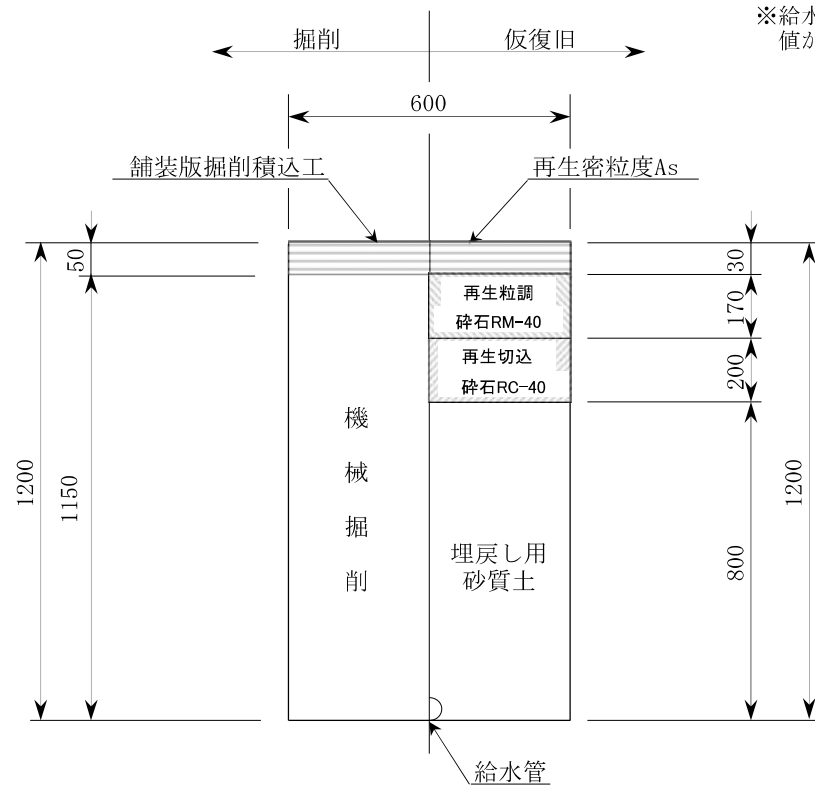
掘削幅 0.60

矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	25.30×2	= 50.60 m
舗装版直接掘削積込工	0.10m ³ ハックホ Ast=10cm以下	0.60×25.30	= 15.18 m ²
機械掘削積込工	0.1m ³ ハックホ	$(0.60 \times 1.15) \times 25.30$	= 17.46 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 砂質土	$(0.60 \times 0.80) \times 25.30$	= 12.14 m ³
残土処分工	機械積 AS 2t車	$0.60 \times 0.05 \times 25.30$	= 0.76 m ³
残土処分工	機械積 土砂 2t車	17.46	= 17.46 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t= 20cm	0.60×25.30	= 15.18 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t= 17cm	0.60×25.30	= 15.18 m ²
As舗装工	再生密粒度As t= 3cm	0.60×25.30	= 15.18 m ²

略

図



※給水管の管体控除は
値が小さいため計上しない。

給水管延長 = 4.50 m

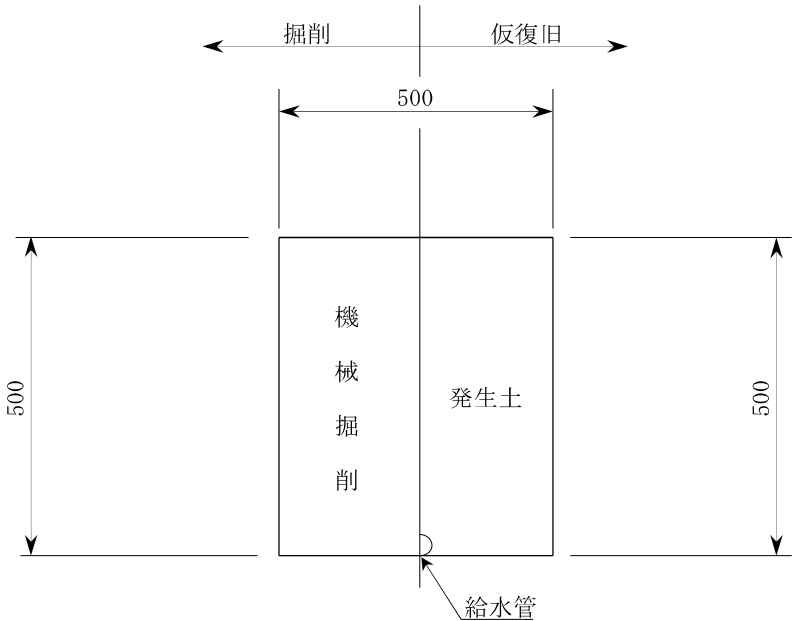
境界〜乙止水栓

掘削幅 0.50 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
機械掘削積込工	0.1m ³ ハックホ	0.50 × 0.50 × 4.50 =	1.13 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 発生土	0.50 × 0.50 × 4.50 =	1.13 m ³
残土処分工	機械積土砂 2t車	1.13 − 1.13 =	m ³

略

図



給水管延長 = 9.30 m

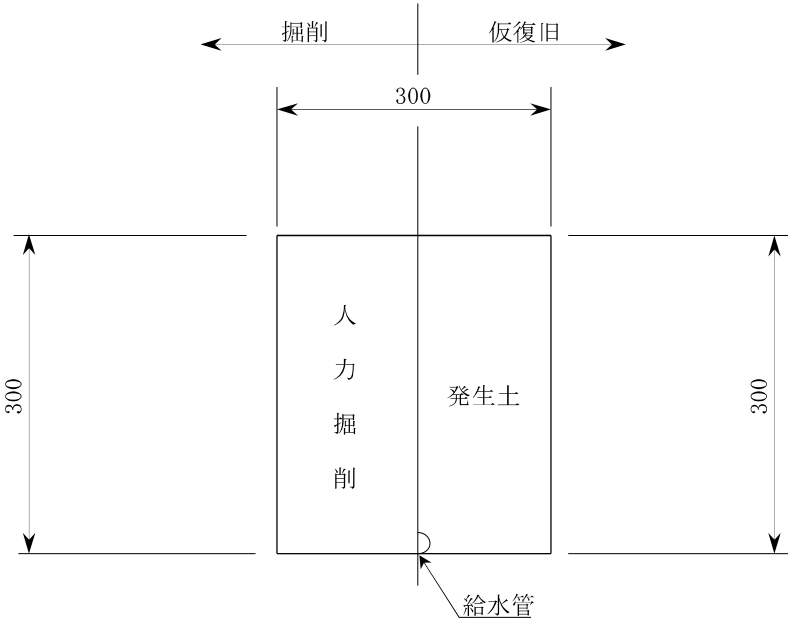
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
人力掘削積込工	人力	$0.30 \times 0.30 \times 9.30 =$	0.84 m^3
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.30 \times 9.30 =$	0.84 m^3
残土処分工	機械積土砂 2t車	$0.84 - 0.84 =$	m^3

略

図



給水管延長 = 1.50 m

境界〜乙止水栓

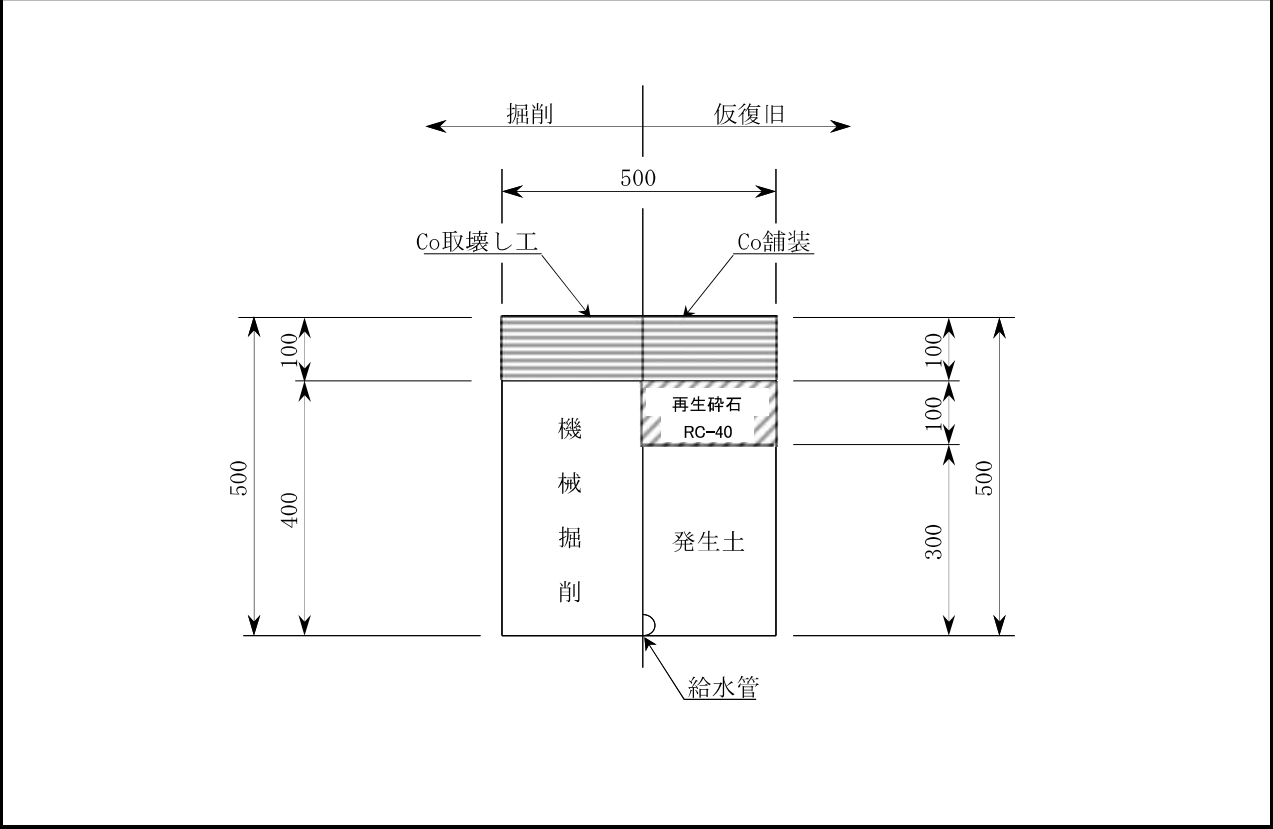
掘削幅 0.50

矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	Co厚15cm以下	1.50 × 2	= 3.00 m
構造物とりこわし工(無筋)	人力 無筋Co	0.50 × 1.50 × 0.10	= 0.08 m ³
機械掘削積込工	0.1m ³ バックホウ	0.50 × 0.40 × 1.50	= 0.30 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ バックホウ 発生土	0.50 × 0.30 × 1.50	= 0.23 m ³
残土処分工	機械積 Co 2t車	0.75 × 0.10	= 0.08 m ³
残土処分工	機械積 土砂 2t車	0.30 — 0.23	= 0.07 m ³
上層路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.50 × 1.50	= 0.75 m ²
コンクリート工	t= 10cm	0.50 × 1.50 × 0.10	= 0.08 m ³

略

図



給水管延長 = 5.50 m

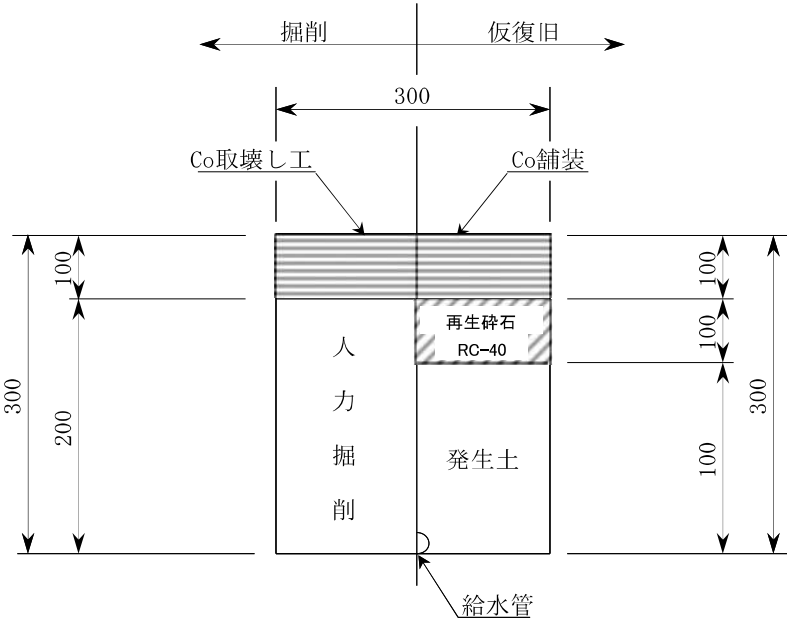
乙止水栓～メーター～既設管

掘削幅 0.30 矢板無

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	Co厚15cm以下	5.50×2	$= 11.00 \text{ m}$
構造物とりこわし工(無筋)	人力		
	無筋Co	$0.30 \times 5.50 \times 0.10$	$= 0.17 \text{ m}^3$
人力掘削積込工	人力	$0.30 \times 0.20 \times 5.50$	$= 0.33 \text{ m}^3$
人力埋戻工	発生土	$0.30 \times 0.10 \times 5.50$	$= 0.17 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 Co 2t車	1.65×0.10	$= 0.17 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 2t車	$0.33 - 0.17$	$= 0.16 \text{ m}^3$
上層路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.30×5.50	$= 1.65 \text{ m}^2$
コンクリート工	t= 10cm	$0.30 \times 5.50 \times 0.10$	$= 0.17 \text{ m}^3$

略

図



給水管延長 = 0.50 m

境界〜乙止水栓

掘削幅 0.50

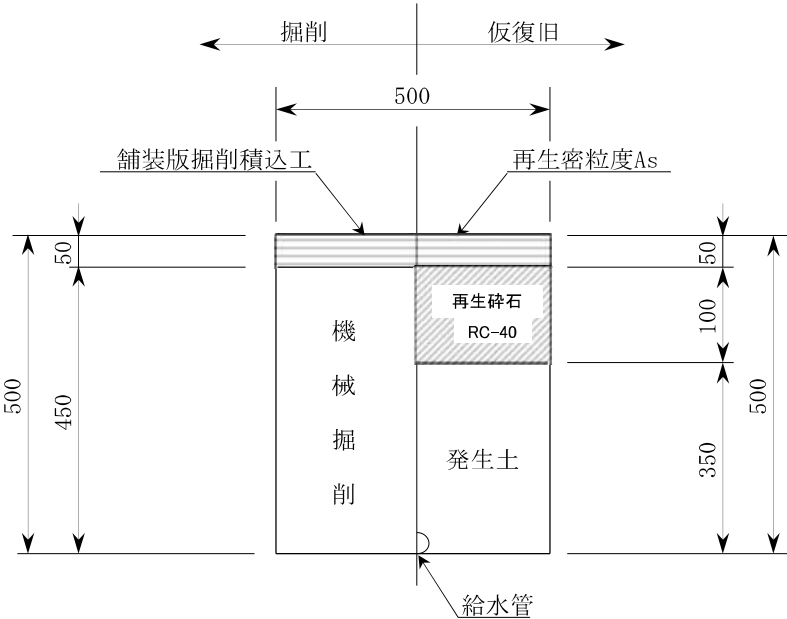
矢板無

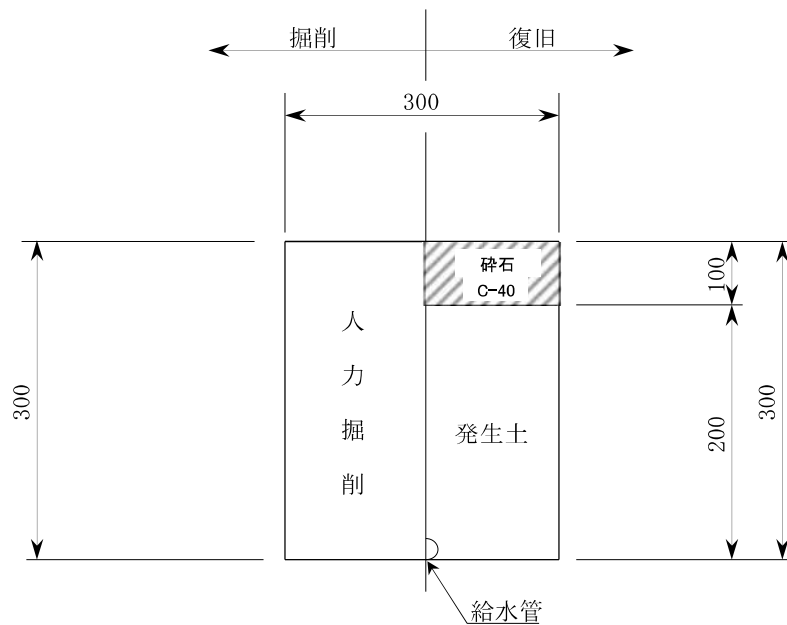
1箇所当たり

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	0.50 × 2	1.00 m
舗装版直接掘削積込工	As _t =10cm以下	0.50 × 0.50	0.25 m ²
機械掘削積込工	0.1m ³ ハックホ	0.50 × 0.45 × 0.50	0.11 m ³
機械埋戻工	0.1m ³ ハックホ 砂質土		
	0.1m ³ ハックホ 発生土	0.50 × 0.35 × 0.50	0.09 m ³
残土処分工	機械積 AS 2t車	0.50 × 0.05 × 0.50	0.01 m ³
残土処分工	機械積 土砂 2t車	0.11 − 0.09	0.02 m ³
路盤工 (宅地内)	再生切込碎石 t= 10cm	0.50 × 0.50	0.25 m ²
舗装工 (宅地内)	再生密粒度Asコン t= 5cm	0.50 × 0.50	0.25 m ²

略

図





仮設配管設置・撤去工事

仮設管布設延長表

G50A				
名 称	単位延長	管 路 長		備 考
		本数	延長	
直 管	4.00	19	76.00	
直 管	2.00	11	22.00	
直 管	1.00	7	7.00	
直 管	0.50	11	5.50	
直 管	0.30	14	4.20	
撤去用直管	0.25	2	0.50	
フレキ管	1.00	14	14.00	
エルボ90°	0.21	10	2.10	
チーズ50×50	0.18	6	1.08	
マルチジョイント	0.10	3	0.30	
ボールバルブ	0.21	7	1.47	
取出短管20	0.15	7	1.05	
取出短管25	0.15	1	0.15	
接続短管 U×U	0.02	1	0.02	
接続短管 S×キャップ	0.09	1	0.09	
ストッパー	0.00	234	0.00	
給水ホース 20A×3.0m	0.00	11	0.00	
給水ホース 25A×3.0m	0.00	1	0.00	
給水ホース 20A×1.5m	0.00	2	0.00	
バルブBOX	0.00	15	0.00	
接続短管 分水栓接続用	0.00	2	0.00	
止水栓ハンドル	0.00	2	0.00	
サドル分水栓	0.00	2	0.00	
閉栓キャップ	0.00	2	0.00	
チーズ50×50	0.07	6	0.42	計算用
				管路長ーバルブー取出短管
		計	135.88	133.21
G80A				
名 称	単位延長	平 面 長		備 考
		本数	延長	
レジャーサー	0.19	1	0.19	
接続短管 U×U	0.02	1	0.02	
G型消火栓	0.00	1	0.00	
ストッパー	0.00	4	0.00	
消火栓BOX	0.00	1	0.00	
				管路長ーバルブー取出短管
		計	0.21	0.21

仮設管材料集計

【G型50A】…レンタル期間60日間

50

名 称	形状・寸法	単位	数 量	計	設計 数量
直管	50A×4.0m	本		19	19
直管	50A×2.0m	本		11	11
直管	50A×1.0m	本		7	7
直管	50A×0.5m	本		11	11
直管	50A×0.3m	本		14	14
撤去用直管	50A×0.25m	本		2	2
フレキ管	50A×1.0m	本		14	14
エルボ	50A×90°	個		10	10
チーズ	50A×50A	個		6	6
マルチジョイント	50A S×MJ	個		3	3
ボールバルブ	50A	基		7	7
取出短管	20A	個		7	7
取出短管	25A	個		1	1
接続短管	U×U	個		1	1
接続短管	S×キャップ	個		1	1
ストッパー	50A	組		234	234
給水ホース	20A×3.0m	本		11	11
給水ホース	25A×3.0m	本		1	1
給水ホース	20A×1.5m	本		2	2
バルブBOX		個	バルブ7個、給水8個	15	15
接続短管	50A 分水栓接続用	個		2	2
サドル付分水栓	DIP用 φ100×φ50	個		2	2
閉栓キャップ	φ50	個		2	2

【G型80A】…レンタル期間60日間

[illegible]

仮設配管労務

[illegible]

仮設配管労務

[illegible]

仮設管土工延長集計表

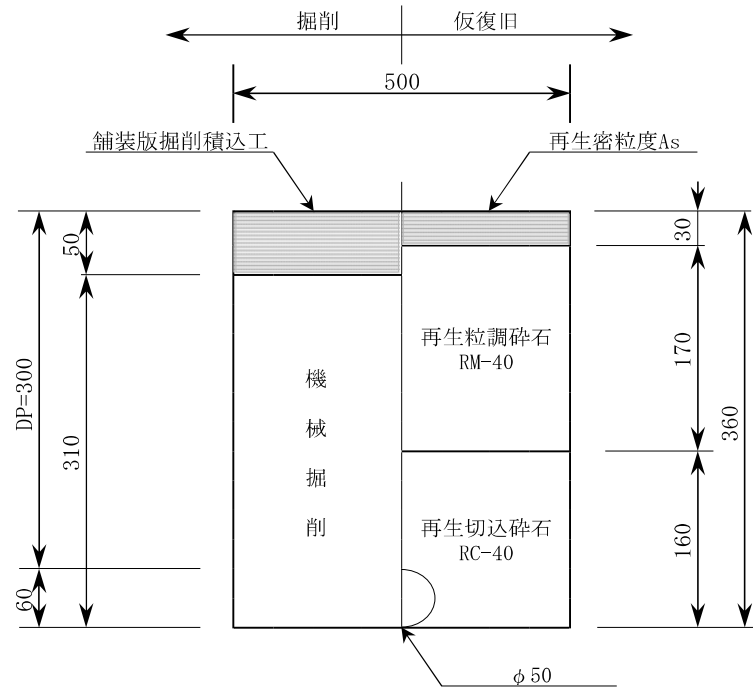
[illegible]

[illegible][illegible]

仮設管土工計算 (設置) $\phi 50$ $DP=0.30$ 延長 = 113.40 m

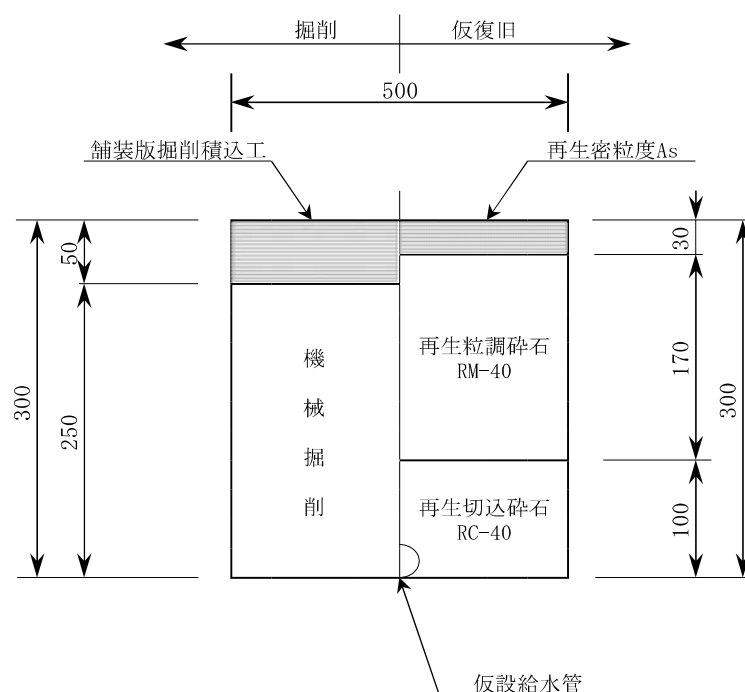
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	113.40×2	= 226.80 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m^3 ハックホ As t=10cm以下	0.50×113.40	= 56.70 m^2
機械掘削積込工	0.2m^3 ハックホ	$0.50 \times 0.31 \times 113.40$	= 17.58 m^3
機械埋戻工	0.20m^3 ハックホ 砂質土		
残土処分工	機械積 As 4t車	$0.50 \times 0.05 \times 113.40$	= 2.84 m^3
残土処分工	機械積 土砂 4t車	17.58	= 17.58 m^3
下層路盤工	再生切込碎石 t=16cm	0.50×113.40	= 56.70 m^2
上層路盤工	再生粒調碎石 t=17cm	0.50×113.40	= 56.70 m^2
舗装工	再生密粒度アスコン t=3cm	0.50×113.40	= 56.70 m^2

略 図



種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	23.50×2	$= 47.00 \text{ m}$
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ As t=10cm以下	0.50×23.50	$= 11.75 \text{ m}^3$
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$0.50 \times 0.25 \times 23.50$	$= 2.94 \text{ m}^3$
機械埋戻工	0.20m ³ ハックホ 砂質土		
残土処分工	機械積 As 4t車	$0.50 \times 0.05 \times 23.50$	$= 0.59 \text{ m}^3$
残土処分工	機械積 土砂 4t車	2.94	$= 2.94 \text{ m}^3$
下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm	0.50×23.50	$= 11.75 \text{ m}^2$
上層路盤工	再生粒調碎石 t=17cm	0.50×23.50	$= 11.75 \text{ m}^2$
舗装工	再生密粒度アスコン t=3cm	0.50×23.50	$= 11.75 \text{ m}^2$

义



ポット排水栓土工計算
(設置)
既設 DCIP φ 100

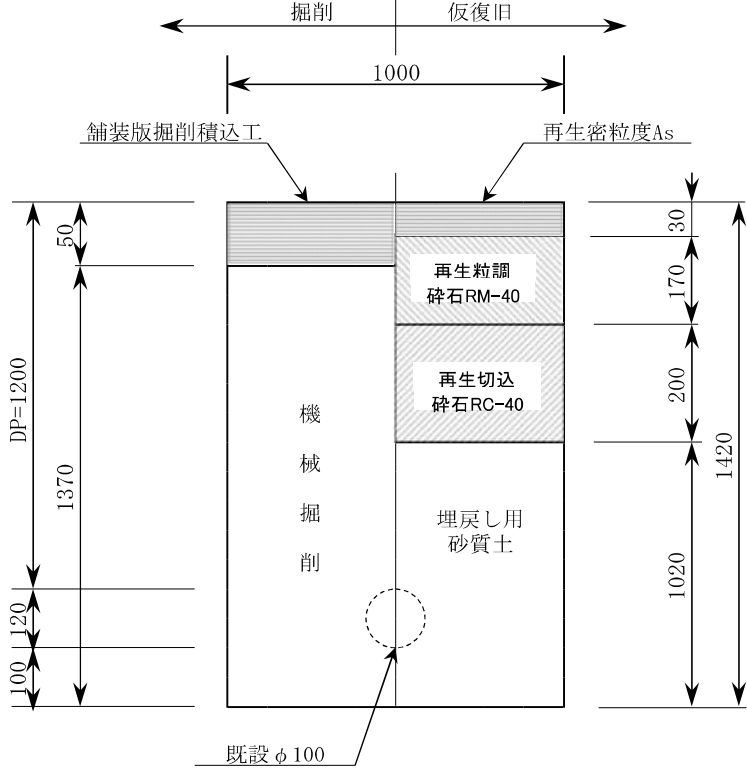
延長 = 2.00 m

種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下	$2.00 \times 2 + 1.00 \times 4 =$	8.00 m
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ As t=10cm以下	$1.00 \times 2.00 =$	2.00 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	$(1.00 \times 1.37 - 0.011) \times 2.00 =$	2.72 m ³
機械埋戻工	0.20m ³ ハックホ 砂質土	$(1.00 \times 1.02 - 0.011) \times 2.00 =$	2.02 m ³
残土処分工	機械積 As 4t車	$1.00 \times 0.05 \times 2.00 =$	0.10 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	2.72	2.72 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t=20cm	$1.00 \times 2.00 =$	2.00 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t=17cm	$1.00 \times 2.00 =$	2.00 m ²
舗装工	再生密粒度Asコン t=3cm	$1.00 \times 2.00 =$	2.00 m ²

略

図

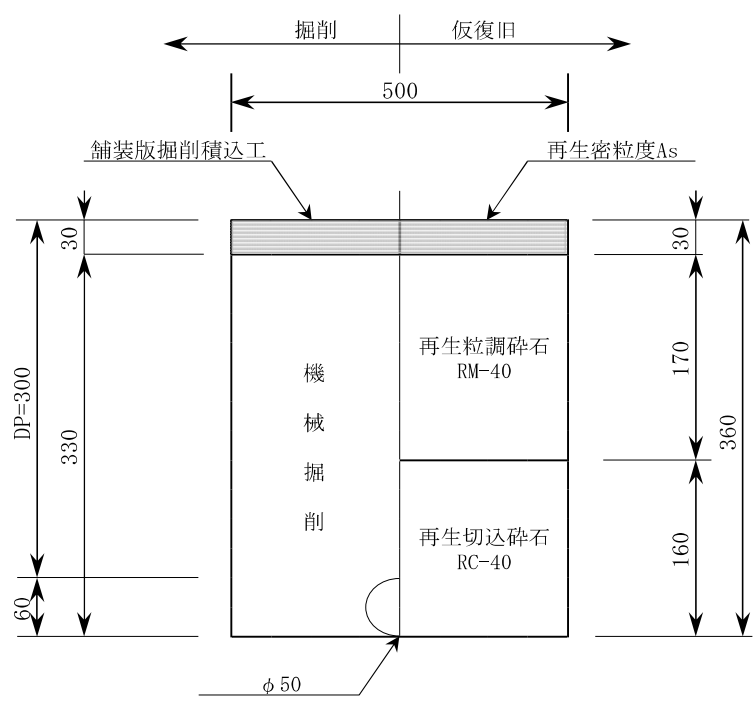
※既設 DCIP φ 100控除 0.011 m²



仮設管土工計算 $\phi 50$ $DP=0.30$ 延長 = 113.40 m
(撤去)

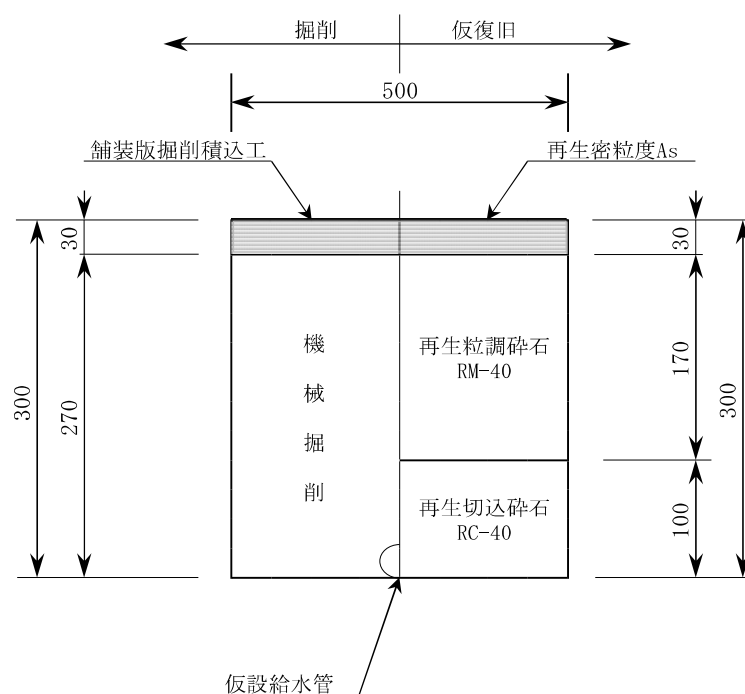
種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下		
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ ハックホ As t=10cm以下	0.50 × 113.40	= 56.70 m ²
機械掘削積込工	0.2m ³ ハックホ	0.50 × 0.33 × 113.40	= 18.71 m ³
機械埋戻工	0.20m ³ ハックホ 砂質土		
残土処分工	機械積 As 4t車	0.50 × 0.03 × 113.40	= 1.70 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	18.71	= 18.71 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t=16cm	0.50 × 113.40	= 56.70 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t=17cm	0.50 × 113.40	= 56.70 m ²
舗装工	再生密粒度アスコン t=3cm	0.50 × 113.40	= 56.70 m ²

略 図



種 別	形状・寸法	算 式	数 量
舗装版切断工	厚15cm以下		
舗装版直接掘削積込工	0.20m ³ /ハックホ As t=10cm以下	0.50 × 23.50 =	11.75 m ³
機械掘削積込工	0.2m ³ /ハックホ	0.50 × 0.27 × 23.50 =	3.17 m ³
機械埋戻工	0.20m ³ /ハックホ 砂質土		
残土処分工	機械積 As 4t車	0.50 × 0.03 × 23.50 =	0.35 m ³
残土処分工	機械積 土砂 4t車	3.17 =	3.17 m ³
下層路盤工	再生切込碎石 t=10cm	0.50 × 23.50 =	11.75 m ²
上層路盤工	再生粒調碎石 t=17cm	0.50 × 23.50 =	11.75 m ²
舗装工	再生密粒度アスコン t=3cm	0.50 × 23.50 =	11.75 m ²

四



撤去

既設管撤去工

名 称	形 状 寸 法	単位	I	II	III	IV	V	数量
既設ダクタイル 鋳鉄管撤去工	φ 100	m	3. 4	2. 65	5. 48			11. 5
既設ダクタイル 鋳鉄管撤去工	φ 75	m	65. 49					65. 5
既設ダクタイル 鋳鉄管切断工	φ 100	口	1	1	1			3
既設ダクタイル 鋳鉄管切断工	φ 75	口	11					11
仕切弁篋撤去工	A形1号 受枠30以上 60kg未満 蓋30kg未満	基		1	1			2
消火栓撤去工	地下式 単口	基		1	1			2
鉄蓋撤去工	角形1号	個		1	1			2
レジンコンクリートボックス撤去工	角形1号 上部壁 H=200	個		1	1			2
レジンコンクリートボックス撤去工	角形1号 中部壁 H=200	個		1	1			2
レジンコンクリートボックス撤去工	角形1号 下部壁 H=200	個		1	1			2
レジンコンクリートボックス撤去工	角形1号 底版 H=40	個		1	1			2
撤去管収集運搬	撤去管	台						1
※処分量								
ダクタイル鋳鉄管 φ 100	0. 01862t/m	t						0. 215
ダクタイル鋳鉄管 φ 75	0. 01440t/m	t						0. 943
仕切弁篋	45. 8kg=0. 0458t	t						0. 092
地下式消火栓	0. 026t	t						0. 052
鉄蓋 角形1号	0. 0559t	t						0. 112
レジンコンクリートボックス 角形1号 上部 H=200	0. 0399t	t						0. 080
レジンコンクリートボックス 角形1号 中部 H=200	0. 023t	t						0. 046
レジンコンクリートボックス 角形1号 下部 H=200	0. 022t	t						0. 044
レジンコンクリートボックス 角形1号 底版	0. 027t	t						0. 054
消火栓室重量計		t						0. 336

土留材賃料

軽量鋼矢板賃料算定-1

〔軽量鋼矢板〕

軽量鋼矢板(Ⅱ型) 矢板長2.5m 支保工 1 梁

・ 供用日数＝土留施工延長(m)÷日進量(m/日)×1.7(供用日数割増)

$$\begin{aligned} & \text{布設延長} & \text{1口当りの施工日数} \\ = & (\quad 8.60 \quad) \div 4.60 \times 1.7 \\ \div & 4 \quad \text{日} & \text{※供用日数は1日として考える} \end{aligned}$$

・ 軽量鋼矢板賃料（一口あたり標準施工延長は4.6mとする）

賃料＝(供用1日当り賃料×施工供用日数+1現場当り修理費及び損耗費×補正率)×1口当り重量

_____円

1口当り重量	$4.6(\text{m/口}) \div 0.25(\text{m/枚}) \times 2(\text{各面}) = 38(\text{枚})$ $38(\text{枚}) \times 2.5(\text{m}) \times 0.0118(\text{t/m}) = 1.121(\text{t})$
使用回数	$8.60(\text{m}) \div 4.6(\text{m/口}) = 1.9 \text{ 回}$
補正率	$1/2 \times (n+1)$ ※nは矢板の使用回数 $= 1.5$

軽量鋼矢板運搬重量＝ 1.121t

〔支保材賃料〕

賃料＝アルミ腹起し賃料＋水圧式パイプサポート賃料＋水圧ポンプ賃料

_____円

アルミ製腹起 (120×120×2,000)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	$4.6(\text{m/口}) \div 2.0(\text{m/本}) \times 1(\text{段}) = 3(\text{本/片面})$ $3(\text{本/片面}) \times 2(\text{両面}) = 6(\text{本})$
	部材賃料	
水圧サポート (590～900)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	6(本) (腹起材と同数)
	部材賃料	
水圧ポンプ 15～19ℓ	1日当り賃料	円/台・日
	使用数量	1台
	部材賃料	

部 材	製品重量 (t)
軽量鋼矢板	$2.50\text{m} \times 0.0118\text{t/m} \times 38\text{枚} = 1.121\text{t}$
アルミ腹越	$18.60\text{kg/本} \times 6\text{本} \div 1,000\text{kg/t} = 0.112\text{t}$
水圧サポート	$15.60\text{kg/本} \times 6\text{本} \div 1,000\text{kg/t} = 0.094\text{t}$

軽量鋼矢板賃料算定-2

〔軽量鋼矢板〕

軽量鋼矢板(Ⅱ型) 矢板長2.0m 支保工 1 梁

・ 供用日数＝土留施工延長(m)÷日進量(m/日)×1.7(供用日数割増)

$$\begin{aligned} & \text{布設延長} && \text{1口当りの施工日数} \\ = & (\quad 1.50 \quad) \div 1.50 \times 1.7 \\ \div & 2 \quad \text{日} && \text{※供用日数は1日として考える} \end{aligned}$$

・ 軽量鋼矢板賃料（一口あたり標準施工延長は1.5mとする）

賃料＝(供用1日当り賃料×施工供用日数+1現場当り修理費及び損耗費×補正率)×1口当り重量

_____ 円

1口当り重量	$1.5(\text{m/口}) \div 0.25(\text{m/枚}) \times 2(\text{各面}) = 12(\text{枚})$ $12(\text{枚}) \times 2.0(\text{m}) \times 0.0118(\text{t/m}) = 0.283(\text{t})$
使用回数	1回
補正率	使用回数が2回以上の場合に適用

軽量鋼矢板運搬重量＝ 0.283t

〔支保材賃料〕

賃料＝アルミ腹起し賃料＋水圧式パイプサポート賃料＋水圧ポンプ賃料

_____ 円

アルミ製腹起 (120×120×2,000)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	$1.5(\text{m/口}) \div 2.0(\text{m/本}) \times 1(\text{段}) = 1(\text{本/片面})$ $1(\text{本/片面}) \times 2(\text{両面}) = 2(\text{本})$
	部材賃料	
水圧サポート (770～1300)	1日当り賃料	円/本・日
	使用数量	2(本) (腹起材と同数)
	部材賃料	
水圧ポンプ 15～19ℓ	1日当り賃料	円/台・日
	使用数量	1台
	部材賃料	

部 材	製品重量 (t)
軽量鋼矢板	$2.00\text{m} \times 0.0118\text{t/m} \times 12\text{枚} = 0.283\text{t}$
アルミ腹越	$18.60\text{kg/本} \times 2\text{本} \div 1,000\text{kg/t} = 0.037\text{t}$
水圧サポート	$15.60\text{kg/本} \times 2\text{本} \div 1,000\text{kg/t} = 0.031\text{t}$

工旧復本装舖

舗装本復旧 数量集計表－1

名 称	種 別	算 式	数 量	単位
本復旧面積	市道車道部 t=5cm	舗装復旧平面図より	= 428.67	m ²
仮復旧面積	t=5cm	GXφ100 土工集計表より	= 70.00	
		仮設工 土工集計表より	= 70.45	
		給水工 土工集計表より	= 15.00	
		不断水仕切弁 土工集計表より	= 2.00	
		計	157.45	m ²
影響面積	市道車道部 t=5cm	428.67 － 157.45	= 271.22	m ²
舗装切断工	As舗装版 t=5cm以下	市道車道部(t=5cm) 舗装復旧平面図より	= 12.74	m
舗装取壊し工	As舗装版、BH=0.28m ³ t=10cm以下		428.67	m ²
不陸整正工	補足材 RM-40 t=2cm 施工幅1.8m以上 振動ローラ		271.22	m ²
機械掘削工	BH=0.28m ³	市道車道部 仮復旧面積×2cm 157.45 × 0.02	= 3.15	m ³
表層工	再生密粒度As t=5cm 車道 タイヤローラ転圧 PK-4	市道車道部	= 428.67	m ²
残土処理工	土砂 4t車		3.15	m ³
廃材運搬・処分	As塊 4t車	影響面積 × 5cm + 仮復旧面積 × 3cm 271.22 × 0.05 + 157.45 × 0.03	= 18.28	m ³

濁水処理計算書

濁水処理量の算出

①基本条件

舗装切断厚	濁水処理量	
	(m ³ /100m)	(m ³ /m)
t=5cm	0.130	0.0013
t=10cm	0.240	0.0024
t=15cm	0.350	0.0035
t=20cm	0.460	0.0046
t=25cm	0.570	0.0057
t=30cm	0.680	0.0068
t=35cm	0.790	0.0079
t=40cm	0.900	0.0090

※左表に該当しない場合

舗装厚＝, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : m³/100m
濁水処理量① : m³/100m・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned}
 \text{濁水処理量} &= \frac{(\overset{\text{②}}{\quad} - \overset{\text{①}}{\quad}) \times \quad}{5} + \frac{\text{濁水処理量②}}{\quad} = \\
 &= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}
 \end{aligned}$$

舗装厚＝, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : m³/100m
濁水処理量① : m³/100m・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned}
 \text{濁水処理量} &= \frac{(\overset{\text{②}}{\quad} - \overset{\text{①}}{\quad}) \times \quad}{5} + \frac{\text{濁水処理量②}}{\quad} = \\
 &= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}
 \end{aligned}$$

舗装厚＝, 左表り ^{舗装厚①} ^{舗装厚②} の値を基準に算出する。
濁水処理量② : m³/100m
濁水処理量① : m³/100m・・・※舗装厚5.0cm未満は空白となります

$$\begin{aligned}
 \text{濁水処理量} &= \frac{(\overset{\text{②}}{\quad} - \overset{\text{①}}{\quad}) \times \quad}{5} + \frac{\text{濁水処理量②}}{\quad} = \\
 &= \text{ m}^3/100\text{m} \rightarrow \rightarrow \text{ m}^3/\text{m}
 \end{aligned}$$

②濁水処理量、台数の算出

〔舗装切断数量〕

種 別	舗装切断長(m)			
	t=5cm			
本設 φ 200	225.42			
不断水仕切弁	5.46			
給水	51.60			
仮設	281.80			
本復旧	12.74			
計	577.02			

〔濁水処理量〕

種 別	舗装切断長 A (m)	濁水処理量 B (m ³ /m)	総濁水処理量 A×B (m ³)
t=5cm	577.02	0.0013	0.750
計			0.750

よって、上表より「濁水処理量」は 0.750m³ となる

〔濁水運搬台数〕 1台=1.666m³

$$0.750\text{m}^3 \div 1.666\text{m}^3/\text{台} = 0.451\text{台}$$

$$= \underline{\quad 1 \text{ 台} \quad}$$

処分費

現場発生品運搬

名 称	計 算 書	数 量
運搬重量		
残管（鑄鉄管）	※〔配管労務100〕より 0.111 t	0.111 t
残管（鑄鉄管）	※〔配管労務75〕より	0.000 t
残管（塩ビ管）	※〔配管労務50〕より	0.000 t
撤去管（鑄鉄管）	※〔撤去労務〕より (φ100) 0.215 t	0.215 t
撤去管（鑄鉄管）	※〔撤去労務〕より (φ75) 0.943 t	0.943 t
消火栓	※〔撤去労務〕より 0.052 t	0.052 t
消火栓室	※〔撤去労務〕より 0.336 t	0.336 t
仕切弁筐	※〔撤去労務〕より 0.092 t	0.092 t
収集運搬車両,回数	運搬車両 : 2t車 (1.749 ÷ 2.0 = 0.874)	1 回

残土処分工 アスファルト塊

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計表100〕より 3.520m ³	3.520 m ³
不断水土工	※〔不断水仕切弁土工集計表〕より 0.090m ³	0.090 m ³
撤去土工	※〔撤去土工集計表〕より	0.000 m ³
給水管土工	※〔給水管土工集計表〕より 0.770m ³	0.770 m ³
仮設管土工	※〔仮設管土工集計表〕より 5.580m ³	5.580 m ³
本復旧工	※〔舗装本復旧数量集計表〕より 18.280m ³	18.280 m ³
運搬量		28 m ³
処分量	28.00 × 2.35 m ³ /t	66 t

残土処分工 コンクリート塊

名 称	計 算 書	数 量
給水管土工	※〔給水管土工集計表〕より 0.250m ³	0.250 m ³
運搬量		0.3 m ³
処分量	0.30 × 2.35 m ³ /t	0.7 t

残土処分工 残土

名 称	計 算 書	数 量
配水管土工	※〔配水管土工集計表100〕より 93.440m ³	93.440 m ³
不断水土工	※〔不断水仕切弁土工集計表〕より 2.770m ³	2.770 m ³
配水管土工	※〔配水管土工集計表50〕より	0.000 m ³
撤去土工	※〔撤去土工集計表〕より	0.000 m ³
給水管土工	※〔給水管土工集計表〕より 17.870m ³	17.870 m ³
仮設管土工	※〔仮設管土工集計表〕より 45.120m ³	45.120 m ³
本復旧工	※〔舗装本復旧数量集計表〕より 3.150m ³	3.150 m ³
運搬量		162 m ³
処分量		162 m ³

处分先

処分先

AS殻

住所：川越市大字下赤坂1817
名称：埼玉アスコン
DID：あり
距離：17.4 km

建設発生土

住所：青梅市成木5-1390
名称：UCR(オ)
DID：あり
距離：9.4 km

CO殻

住所：飯能市大字芦荻場475
名称：榎丸宮
DID：あり
距離：5.3 km

現場発生品

住所：飯能市小岩井709-1
名称：小岩井浄水場
DID：あり
距離：5.1 km

As濁水

住所：狭山市広瀬台2-12-13
名称：大丸商事(株)
DID：あり
距離：9.0 km

日数計算

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
新設管 GX φ 100 (不断水 含む)	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	230	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.263
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20㎡)	72	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.167
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20㎡	96	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.160
	管布設工	管布設工	DIP φ 100	110.9	m		m/日		水道事業実務必携 P.51
		管継手工(直管)	DIP φ 100	28	口		口/日		水道事業実務必携 P.56
		管継手工(異形管)	DIP φ 100	7	口		口/日		水道事業実務必携 P.56
		管継手工(G-Link)	DIP φ 100	30	口		口/日		水道事業実務必携 P.56
		フランジ継手工	DIP φ 100	2	口		口/日		水道事業実務必携 P.54
		鋳鉄管切断工(エンジンカッター)	DIP φ 100	20	口		口/日		水道事業実務必携 P.90
		ポリエチレンスリーブ被覆	DIP φ 100	113.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.60
		管明示テープ	DIP φ 100	113.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.63
		管明示シート	DIP φ 100	113.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.64
	仕切弁設置工	鋳鉄製仕切弁設置工	φ 100以下	7	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.96
		ねじ式弁筐設置工	1号	8	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.103
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.20㎡	70	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.162
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	72	㎡		㎡/日・層		水道事業実務必携 P.177
		上層路盤工	1層 1.8m未満	144	㎡		㎡/日・層		水道事業実務必携 P.169
		下層路盤工	1層 1.8m未満	72	㎡		㎡/日・層		水道事業実務必携 P.169
新設管GX φ 75	管布設工	フランジ継手工	DIP φ 75(80)	2	口		口/日		水道事業実務必携 P.54
既設管	既設管接続工	既設管接続工	既設接続箇所	3	箇所		箇所/日		過去の実績
簡易仕切弁	簡易仕切弁設置工	不断水簡易仕切弁設置工	φ 100	1	箇所		箇所/日		小田原市水道局第13箇
消火栓	消火栓 設置工	消火栓設置工	φ 75	1	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.99
		鉄蓋設置工	φ 600(4号)	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
		レジン製ボックス設置工	φ 600 上部壁H=200	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
		レジン製ボックス設置工	φ 600 中部壁H=100	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
		レジン製ボックス設置工	φ 600 下部壁H=500	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
		レジン製ボックス設置工	φ 600 底板H=40	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
		レジン製ボックス設置工	φ 600 底板H=40	1	個		個/日		水道事業実務必携 P.101
給水管	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	52	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.263
		舗装版切断工	Co t=15cm以下	14	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.263
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.10㎡)	15	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.167
	人力掘削工	掘削工	現場制約あり	1	㎡		㎡/日		埼玉土木積算基準 P.152
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.10㎡	19	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.160
	分水栓建込み	サドル分水栓建込み	DIP φ 100× φ 50	5	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.190
		サドル分水栓建込み	DIP φ 100× φ 25	1	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.190
		サドル分水栓建込み	DIP φ 100× φ 20	8	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.190
	コア取付	コア取付け工	φ 50	3	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.190
		コア取付け工	φ 25	9	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.190
	管布設工	硬質塩化ビニル管据付工	HIVP φ 50	9.6	m		m/日		水道事業実務必携 P.82
		TS継手工	HIVP φ 50(1口当り)	21	口		口/日		水道事業実務必携 P.82
		管切断工	HIVP φ 50	18	口		口/日		水道事業実務必携 P.95
		硬質塩化ビニル管据付工	HIVP φ 25	1.4	m		m/日		水道事業実務必携 P.82
		TS継手工	HIVP φ 25(1口当り)	7	口		口/日		水道事業実務必携 P.82
		管切断工	HIVP φ 25	6	口		口/日		水道事業実務必携 P.95
		硬質塩化ビニル管据付工	HIVP φ 20	14.8	m		m/日		水道事業実務必携 P.82
		TS継手工	HIVP φ 20(1口当り)	47	口		口/日		水道事業実務必携 P.82
		管切断工	HIVP φ 20	42	口		口/日		水道事業実務必携 P.95
		ポリエチレン管据付工	PP φ 25	4.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.84
		管切断工	PP φ 25	2	口		口/日		水道事業実務必携 P.95
		ポリエチレン管据付工	PP φ 20	20.6	m		m/日		水道事業実務必携 P.84
		管切断工	PP φ 20	16	口		口/日		水道事業実務必携 P.95
		管明示シート	-	25.3	m		m/日		水道事業実務必携 P.64

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
給水管	止水栓	止水栓取付け工	PPφ25 筐含む	1	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.191
		止水栓取付け工	PPφ20 筐含む	8	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.191
		止水栓取付け工	PPφ50 筐含む	3	箇所		箇所/日		水道事業実務必携 P.191
	ねじ込み接合	小口径管ねじ込み接合工	φ30	1	口		箇所/日		
		小口径管ねじ込み接合工	φ25	1	口		箇所/日		水道事業実務必携 P.66
		小口径管ねじ込み接合工	φ20	4	口		箇所/日		水道事業実務必携 P.66
		小口径管ねじ込み接合工	φ13	3	口		箇所/日		水道事業実務必携 P.66
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.10m ³	14	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162
		人力埋戻工	現場制約あり	1	m ³		m ³ /日		埼玉土木積算基準 P.164
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	15	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.177
		上層路盤工	1層 1.8m未満	33	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
		下層路盤工	1層 1.8m未満	15	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
仮設管仮給水布設工	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	282	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.263
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20m ³)	71	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.167
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m ³	23	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.160
	仮設管	ステンレス鋼管布設工	G型 80A	0.2	m		m/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管布設工	G型 50A	133.2	m		m/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管継手工	G型 80A	2	口		口/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管継手工	G型 50A	117	口		口/日		見積歩掛
		取出し短管設置工	G型 50A	8	基		基/日		見積歩掛
		仮設バルブ設置工	G型 50A	7	基		基/日		見積歩掛
		仮設消火栓設置工	G型 単口 継手含まない	1	基		基/日		見積歩掛
		給水ホース布設工	20A L=3.0m,1.5m	13	本		本/日		見積歩掛
		給水ホース布設工	25A L=3.0m,1.5m	1	本		本/日		見積歩掛
		マルチジョイント継手工	G型 50A	3	口		口/日		見積歩掛
	埋戻工	機械埋戻工	BH0.20m ³	2	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.162
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	71	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.177
		上層路盤工	1層 1.8m未満	142	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
		下層路盤工	1層 1.8m未満	71	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
仮設管仮給水撤去工	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20m ³)	69	m ²		m ² /日		水道事業実務必携 P.167
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20m ³	22	m ³		m ³ /日		水道事業実務必携 P.160
	仮設管	ステンレス鋼管撤去工	G型 80A	0.2	m		m/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管撤去工	G型 50A	133.2	m		m/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管取外工	G型 80A	2	口		口/日		見積歩掛
		ステンレス鋼管取外工	G型 50A	117	口		口/日		見積歩掛
		取出し短管取外工	G型 50A	8	基		基/日		見積歩掛
		仮設バルブ取外工	G型 50A	7	基		基/日		見積歩掛
		仮設消火栓取外工	G型 単口 継手含まない	1	基		基/日		見積歩掛
		給水ホース撤去工	20A L=3.0m,1.5m	13	本		本/日		見積歩掛
		給水ホース撤去工	25A L=3.0m,1.5m	1	本		本/日		見積歩掛
		マルチジョイント取外工	G型 50A	3	口		口/日		見積歩掛
	舗装復旧工	表層工(1.4m以下)車・歩道	As t=5cm以下	69	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.177
		上層路盤工	1層 1.8m未満	138	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
		下層路盤工	1層 1.8m未満	69	m ²		m ² /日・層		水道事業実務必携 P.169
既設管撤去工	鑄鉄管	撤去管吊上げ積込み(機械)	φ100	11.5	m		m/日		水道事業実務必携 P.106
		撤去管吊上げ積込み(機械)	φ75	65.5	m		m/日		水道事業実務必携 P.106
		ダクタイル鑄鉄管(FCD)切断	φ100	3	口		口/日		水道事業実務必携 P.104
		ダクタイル鑄鉄管(FCD)切断	φ75	11	口		口/日		水道事業実務必携 P.104
	消火栓弁管	消火栓筐撤去工	飯能市型筐(角型) 鑄鉄製 600×500	2	個		個/日		水道事業実務必携 P.100
		仕切弁筐撤去工	飯能市型筐 1号 φ250	2.0	個		個/日		水道事業実務必携 P.103

開削工事日数算定表

分類	工種	種別	規格	施工量		作業量		実日数	備考
仮設工	土留工 (設置)	軽量鋼矢板建込み工	H=2.00m以下(両側分)	1.5	m		m/日		水道事業実務必携 P.47
		軽量鋼矢板建込み工	H=2.50m以下(両側分)	8.6	m		m/日		水道事業実務必携 P.47
仮設工	土留工 (設置)	軽量金属設置工	1段(腹起し材)	10.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.49
		水圧式パイプサポート設置工	1段(切梁材)	10.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.49
	土留工 (引抜)	軽量鋼矢板引抜き工	H=2.00m以下(両側分)	1.5	m		m/日		水道事業実務必携 P.47
		軽量鋼矢板引抜き工	H=2.50m以下(両側分)	8.6	m		m/日		水道事業実務必携 P.47
		軽量金属撤去工	1段(腹起し材)	10.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.49
		水圧式パイプサポート撤去工	1段(切梁材)	10.1	m		m/日		水道事業実務必携 P.49
舗装工	舗装版切断工	舗装版切断工	As t=15cm以下	13	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.263
	舗装版取壊工	舗装版掘削積込工	As,Co t=10cm以下 (BH0.20㎡)	429	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.167
	機械掘削工	機械掘削積込工	BH0.20㎡	3	㎡		㎡/日		水道事業実務必携 P.160
	舗装復旧工	表層工(3.0m超)	As t=7cm以下 車道	429	㎡		㎡/日・層		埼玉土木積算基準 P.249
	区画線工	区画線工	実線 W=15cm 供用	4	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.3 IV
		区画線工	実線 W=30cm 供用	4	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.3 IV
		区画線工	実線 W=45cm 供用	2	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.3 IV
		区画線工	矢印・記号・文字 供用	37	m		m/日		埼玉土木積算基準 P.3 IV
合計								38.1	
交通誘導員A		39日 × 1人 = 39人							
交通誘導員B		39日 × 1人 = 39人							